



日程変更になりました

6月**29**日(木) 18:30~

会場：静岡県評会議室

第121回定例研究会

だれでも参加できます

コミュニティ・オーガナイズングとは ～活動家育成トレーニング～

報告：中澤秀一氏（静岡県立短期大学准教授）

これからの企画

◆第122回定例研究会

- ・日時…7月20日(木)午後6:30~
- 「韓国における文在寅政権の誕生とその意義」安周永 氏

◆第9回定期総会と記念事業

- ・日時…8月5日(土)午後1:00~
- ・場所…静岡県産業経済会館
- 「最賃1500円運動の根拠と射程」
後藤道夫 氏
(都留文科大学名誉教授)
(現場からの報告)
- 「エキタスの活動」栗原耕平 氏

労働組合運動の新たな可能性

アメリカの最低賃金15ドル運動が注目されていますが、この背景にコミュニティ・オーガナイズングの活用があります。コミュニティ・オーガナイズングは、これまでの労働組合運動や社会運動の経験を理論的に体系化し、短期間のトレーニングで多くの活動家を育成する手法として、アメリカでは広く活用されています。

「労働相談に乗っても解決すると組合を辞めてしまう」「組織拡大を提起されても具体的にどうしたらよいかわからない」「ダサい活動ではなく社会を変えるカッコいい活動をしたい」こんな思いに答えてくれるのがコミュニティ・オーガナイズングのトレーニングとされています。

労働組合の役員だけが忙しく動き回っている活動から、労働者みずからが問題解決のための運動に立ち上がり、自分たちに社会を変える力があることを実感できるスタイルとして注目されています。